

太平寺展



禅の至宝、今ここに

平成27年
10月2日〔金〕—11月8日〔日〕

〔休館日〕10月13日(火)、19日(月)、26日(月)

〔開館時間〕午前9時から午後5時(入館は閉館30分前まで) ※10月2日(金)のみ正午開館

〔観覧料〕一般1,000円(前売り・団体800円)、大高生700円(団体560円)、中小生500円(団体400円)

※団体は20名以上。※学生の方は学生証の提示が必要です。※障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は半額。

〔会場/主催〕福井県立美術館

〔特別協力〕大本山永平寺

〔共催〕福井新聞社、FBC福井放送、福井テレビ 〔後援〕福井県教育委員会、永平寺町、(社)福井県文化協議会

※会期中展示替えがあります。

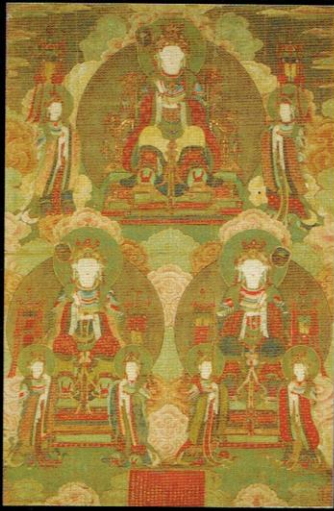


〔伽藍神像 監斎使者立像〕
鎌倉時代(13世紀) 永平寺蔵

福井県立美術館

〒910-0017 福井市文京3-16-1
TEL:0776-25-0452 FAX:0776-25-0459
<http://info.pref.fukui.jp/bunka/bijutukan/bunka1.html>

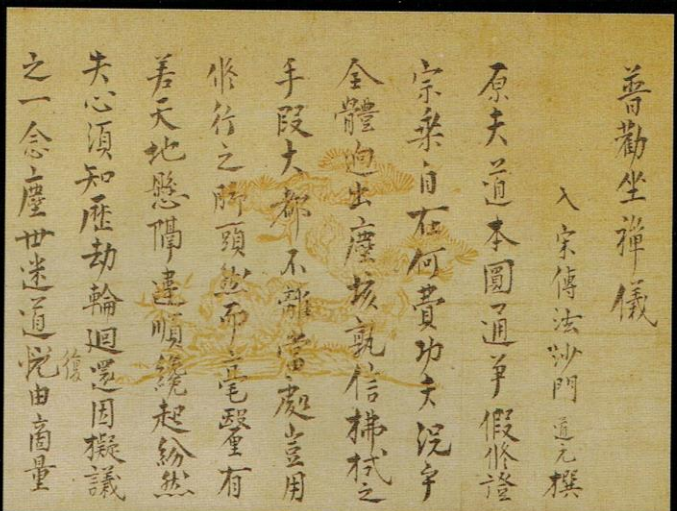
探出法印行年考 一蔵



【県文】「三帝釈天像」
朝鮮王朝時代・成化19年(1483)



狩野探幽筆「四季花鳥図」(秋)
江戸時代・寛文12年(1672)



【国宝】道元筆「普勸坐禅儀」(部分) 鎌倉時代・天福元年(1233)
◎10/2(金)～10/18(日)の期間のみ特別公開

曹洞宗の大本山永平寺は、鎌倉時代の寛元2年(1244)に開祖道元禅師が越前(福井県)に創建した禅の修行道場です。老樹の茂る清閑とした境内には山門、僧堂、仏殿、法堂といった七堂伽藍が建ち並び、多くの僧が修行に励む根本道場として、770年以上の歴史と、多くの文化財を伝えてきました。

本展覧会は、道元を代表する著作で直筆の「普勸坐禅儀」(国宝)を始めとするゆかりの品々に、歴代禅師の肖像画(頂相)や山内の建物を飾る掛軸や襖絵、そして仏像や工芸など、初公開資料を含む秘蔵の名宝約100点を一堂に展示します。鎌倉時代から現代にいたる貴重な文化財を通して、永平寺の歴史と受け継がれた美を紹介します。

禅の至宝、今ここに

大永平寺展

《関連イベント》

◎学芸員によるギャラリートーク

10月17日(土)、31日(土)各午前11時から 展示室にて
*本展観覧券が必要です。

◎見どころ解説会

鑑賞の見どころを学芸員が20分程度で分かりやすく解説します。
会期中の土曜、日曜、祝日 午前11時から 講堂にて
*ただし10月3日(土)、17日(土)、31日(土)は開催しません。
*参加無料。

【前売りチケット販売】

8月1日(土)から10月1日(木)まで

福井県立美術館、ベル、パリオ、エルパブレイガイド、JTB各店舗、
コンビニ端末/ローソン、ファミリーマート、セブンイレブン、
サークルKサンクス

【当日券販売】

10月2日(金)から11月8日(日)まで

福井県立美術館、JTB各店舗、
コンビニ端末/ローソン、ファミリーマート、セブンイレブン、
サークルKサンクス



寺崎廣業筆「ヒマラヤ図」 大正8年(1919)



*会期中、展示替えを行います。*作品はすべて永平寺所蔵。

◎同時開催「レンブラント版画と越前和紙展」(仮) *本展観覧券にてご覧いただけます。



交通のご案内

- 福井鉄道・えちぜん鉄道/「田原町駅」下車徒歩約8分
 - コミュニティバスすまいる/JR福井駅西口「福井駅北フェニックスホテル」のりばより、
田原・文京方面線約10分「県立美術館前」下車
 - 京福バス/JR福井駅西口10番のりばより、福井総合病院線(23・26系統)約10分「藤島高校前」下車(※日曜・祝日は運休)
 - 車・タクシー/JR福井駅より約8分、北陸自動車道福井北ICより約15分
- ※ご来館の際は、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。お車の際はアイドリングストップにご協力下さい。

福井県立美術館

〒910-0017 福井市文京3-16-1 TEL:0776-25-0452 FAX:0776-25-0459 <http://info.pref.fukui.jp/bunka/bijutukan/bunka1.html>